

下野市図書館協議会 議事録

審議会等名 令和4年度 下野市第1回図書館協議会
日 時 令和4年5月26日(水) 9時30分から11時30分まで
会 場 下野市役所 2階 203会議室
出席者 青木委員長、鈴木副委員長、大垣委員、星野委員、下山委員、松本委員、
高木委員、黒川委員、高橋委員、伊澤委員
市側出席者 (事務局) 石崎教育長、浅香課長、伊澤館長補佐、近藤主幹
(指定管理) 和田総括管理運営責任者兼石橋図書館管理運営責任者、
小畑国分寺図書館管理運営責任者、佐藤南河内図書館管理運営責任者

公開・非公開の別 (公開) ・ 一部公開 ・ 非公開)

傍聴者 0人

報道機関 0人

議事録(概要) 作成年月日 令和4年7月7日

議 題

- (1) 令和3年度図書館利用状況について
- (2) 令和3年度図書館外部評価について
- (3) 令和4年度図書館事業計画について
- (4) 令和4年度図書館協議会会議スケジュールについて

【協議事項等】

- 1 開会<近藤主幹>
- 2 委嘱状の交付<石崎教育長>
- 3 あいさつ<石崎教育長>

おはようございます。お忙しい中ご出席をいただき感謝申し上げます。各図書館においては住民の知識ならびに情報の拠点として様々な取り組みを行っているところだが、ここ2～3年はコロナ禍により大変厳しい状況であった。昨年は蔓延防止等重点措置区域の指定、緊急事態宣言等で図書館をはじめ多くの公共施設が休館した。通常開館後も感染拡大防止対策に基づいた運営を余儀なくされ、その対応に大変苦慮しているところである。図書館では引き続き万全な感染症対策をとりながら開館を続けていきたい。感染症予防に関する関係者の皆様のご協力には改めて感謝申し上げます。

本市では本年度4月に市内初、県内4校目となる義務教育学校の南河内小中学校が開校した。12月には石橋複合施設がオープン予定。市内の各学校や公民館等と図書館が連携協力することにより、多様な学習機会と読書活動の充実、さらには多世代交流による地域コミュニティの活性化を目指していきたい。

- 4 委員及び職員自己紹介
- 5 正副委員長の選出について

【質疑等】

石崎教育長 図書館協議会の正副委員長の選出についてお諮りしたい。自薦・他薦あるが、

委員の皆さんのご意見を賜りたい。

下山委員 事務局一任でお願いしたい。

石崎教育長 事務局案一任というご意見があったがいかがか。(異議なし)では事務局案を提示させていただく。

事務局 委員長を青木委員、副委員長を鈴木委員にお願いしたい。

石崎教育長 事務局案が出されたがいかがか。(全委員承認の拍手)了承を得られたので、正副委員長の席への移動と就任の挨拶をお願いします。

青木委員長 今まで同様、皆様のご協力を賜りたいと思うのでよろしくお願いしたい。

鈴木副委員長 昨年に引き続き地域の図書館活動を勉強させていただきたい。お力をお借りしたいのでよろしくお願いしたい。(一同拍手)

6 議 題

(1) 令和3年度図書館利用状況について

【質疑等】

青木委員長 事務局説明をお願いします。

事務局 <資料1>令和3年度下野市図書館月別利用状況調べならびに図書館の利用状況により説明。

(2) 令和3年度図書館外部評価について

【質疑等】

青木委員長 事務局説明をお願いします。

事務局 <資料2>令和3年度図書館外部評価、<資料3>外部評価集計、<資料4>図書館評価により、評価方法ならびに集計結果を説明。

青木委員長 外部評価について質問等はあるか。

松本委員 Aが非常に多く、全てAの委員が4名いる。基本計画によると概ね適正=Bである。この評価基準を理解していないのではないか。今年度は評価基準を再確認した上で評価して欲しい。二点目は電子書籍について。電子書籍のメリットはあると思うが、一方で「電子書籍は費用がかかるのでその費用で印刷書籍を購入すべき」「デジタル絵本には絶対反対」との意見もある。慎重に検討しベストなシステムを作って欲しい。三点目はボランティアの活動人数について。目標が達成できないだけでなく減っている。コロナの影響もあると思うが引き続き尽力願いたい。

青木委員長 今の意見を参考に今年度の評価を慎重に付けていただきたい。電子書籍についてもよく分かっていないと思うので全員で勉強した方が良い。

事務局 令和3年度の評価は前期までの委員の意見もあるので変えられないが、今年度については評価前に改めて説明し、共通認識のもとで評価していただきたい。

浅香課長 令和3年度はコロナ禍での各館の努力を評価していただいた部分もあるかと思う。評価基準についてはこれまで何度も議論して現在の形になっているので、今一度基本計画・評価マニュアルに基づいた視点から評価願いたい。また電子書籍の件を含め様々なご意見をいただいているので、配慮しながらまとめたい。電子書籍は指定管理者の提案でもあるので今後5年間をかけて検討する。協議会でも研修を重ねながら方向性を見出していきたい。

高木委員 実際に電子書籍を使ったことがないし大多数はご存じない。知らないで評価す

るのは無理なので研修や勉強の機会を是非与えて欲しい。

青木委員長 蔵書や予算に余裕があれば良いのだが。

浅香課長 全国的に導入している自治体の参考資料があるので、今後の在り方についても検討していきたい。図書館連絡協議会等の機会に情報交換させていただく。

石橋図書館 電子書籍については『図書館雑誌』に全国的にも検討されているという結果が載っていた。利点の一つはコロナ禍で図書館に来られなくなった方や障がい等で紙の本が読めない方に向けても非来館型でも館外貸出ができること。コロナ禍でどうしても図書館を利用したい方に対するサービスの一つとしてこういった形も良いのではないかと検討させていただいた。また電子書籍が読み上げてくれるので目が不自由な方や文字が読みにくい方へのサービスにもなる。図書館に来館する方、来られない方両方へのサービスができるのではと提案させていただいた。

松本委員 個人的には電子書籍自体にメリットはあると思うが、どのようなシステムを作るのか、予算の問題等も含めて説明を受けないと意見が言えない。

事務局 電子書籍についてのパンフレットがあるので次回提示させていただく。

青木委員長 よろしく願います。他になければ(3)に移る。

(3) 令和4年度図書館事業計画について

【質疑等】

青木委員長 事務局説明願います。

事務局 <資料5>令和4年度度図書館事業計画により、主な事業を説明。

石橋図書館 <資料5>令和4年度度図書館事業計画により、主な事業を説明。

国分寺図書館 <資料5>令和4年度度図書館事業計画により、主な事業を説明。

南河内図書館 <資料5>令和4年度度図書館事業計画により、主な事業を説明。

青木委員長 事業計画について質問はあるか。

高木委員 3館合同の調べる学習支援は決まった日に子どもを集めてレクチャーするものか。

石橋図書館 そのとおりである。出前講座や科学実験等、夏休みの宿題で役立つような支援講座を予定している。

高木委員 ありがとうございます。調べたいことをカウンターで聞くのは子どもには意外と敷居が高い気がするので、夏休みだけでも子どもの質問に答えるコーナー等があると良いと思うので検討して欲しい。

大垣委員 昨年の南河内図書館の「子どもの本にまつわる思い出エピソード」という企画がとても良かった。今年も実施されるのか。

南河内図書館 企画している。

大垣委員 是非やっていただきたい。

青木委員長 事業計画についてはコロナが今以上にならないければ計画通りに行われるということなので、実施されることを願う。他になければ(4)に進む。

(4) 令和4年度図書館協議会会議スケジュールについて

【質疑等】

青木委員長 事務局説明願います。

事務局 <資料6>令和4年度図書館協議会会議スケジュールにより説明。

次に配布したカレンダーをご覧いただきたい。石橋図書館では10月4日から10日まで特別整理期間となっている。この期間大松山運動公園では国体が開催され図書館前の駐車場は関係者駐車場になり一般利用ができないため、特別整理期間にして休館とするものである。なお、国分寺・南河内館は通常利用可能。また国体に先立ち9月に石橋図書館でスポーツ振興課協力のもと関連資料による展示をして機運の醸成を図りたい。

コロナ対策に関しては、引き続き感染対策を取りながら事業を実施する予定。9月1日よりレファレンス室・学習席の滞在時間を1回2時間半から3時間半に1時間延長する。またWi-Fiが開通したので学習席でWi-Fiを使って学習することも可能となっている。

青木委員長 他に質問や要望はあるか。なければ以上で議題はすべて終了とする。

7 その他

(1) 各委員の推薦について

- ・社会教育委員の推薦
- ・生涯学習推進協議会委員の推薦

近藤主幹 各委員の推薦について事務局から説明する。

事務局 下野市社会教育委員の推薦についてはこれまで同様に委員長にお願いしたい。生涯学習推進協議会委員については自薦があれば承りたい。(挙手なし) 事務局推薦でよいか。下山委員にお願いしたい。(全委員承認の拍手)

近藤主幹 2名の委員にはよろしくお願いしたい。

(2) 次回開催予定

近藤主幹 次回は7月13日(水)9時30分から、会場は同じく203会議室となる。質問等があれば受ける。

下山委員 現在の指定管理で、国分寺館のみ違う事業所なのは何か意味があるのか。

石橋図書館 2社共同事業体で石橋・南河内は図書館流通センター、国分寺は大高商事のスタッフと館分けしている。運営自体は2社共同である。

下山委員 1館のみ違うことにどういう意味があるのかと思っていたので尋ねた。大元が一緒であることは了解した。

松本委員 共同事業体で指定されたということか。

石橋図書館 そのとおりである。

8 閉会

近藤主幹 以上で第1回図書館協議会を終了とする。